

千葉県佐倉市の地域公共交通総合連携計画策定調査事業について

策定
調査

現況及び課題

- 鉄道は、京成電鉄本線、JR総武線・成田線が、市の東西を貫くように走っており、市内には合計6つの鉄道駅が存在する。
- 鉄道以外の公共交通手段として、バス路線と新交通システム(モノレール)が走り、鉄道駅間や、住宅地と鉄道駅を結ぶ移動手段としての役割を担っている。
- 一方で、自家用車の普及・利用者ニーズの多様化・地域の過疎化といった要因から、利用者の減少がバスの減便を招き、さらに利用者が減少するといった悪循環に陥っている地域(和田地区・弥富地区)や、交通事業者が撤退してしまった地域(志津北部地区)などをはじめ、交通空白地域が徐々に広がりを見せてきている。

活性化の目標・方向性

- 市内の交通体系や、ニーズを把握した上で、質の高い、持続性のある公共交通サービスの導入を目標とする。

実施する事業の内容

- ①人口や施設の充実度、既存公共交通網などについて整理し、各地区の現状を把握する。
 - ②アンケートや住民ヒアリングを通じて、地区の求めているサービスの形態・水準を把握する。
 - ③上記から現在佐倉市が抱える課題を整理した上で、これを打開するに有効なサービス内容と水準を検討する。
- ※②・③については、従前から交通不便地域と認識されている「南部地域」と「志津北部地区」に重点をおいて調査・分析・対策検討をおこなっていくものとする。

千葉県佐倉市：策定調査実施区域

